



Disaster Management Training Center, IIS, The University of Tokyo

東京大学生産技術研究所附属  
災害対策トレーニングセンター

# セミナー 防災とジェンダー

2025年2月10日（月曜日）

@東京大学駒場キャンパス

オンライン併用

# 詳細

~~~~~  
【申込締切：2025年1月31日(金)】

- 申込は [[リンクフォーム](#)] よりお願い致します。  
~~~~~
- **日程**：2025年2月10日(月) 14時～17時（予定）※左記の時間内で短縮など変更の可能性あり
- **開催形式**：ハイブリッド

・  
<オンライン> <https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/81800401742?pwd=HbFoWiJU8jCpCTP1bnJVvFsBof13Jl.1>

- ミーティング ID818 0040 1742  
パスコード 20250210
- < 対 面 > 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所 <https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/> As 棟 3 階 As311-312 号 室  
※お車での来所はご遠慮下さい。
- **対象者**：どなたでも
- **定員**：40名（対面には定員があります。ご了承ください）
- **参加費**：無料
- **主催**：東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター(DMTC)
- **協力**：株式会社リテラシー（リテラジャパン）

# 問題意識 Background

- 防災には女性が大きな役割を果たす
- しかし、防災の準備や経験を共有する場面でも女性が前面に出てこないし、あまり話題に上らない
- 例えば、実際に被災地に食料が来て配ったり加工するのは女性である。避難所の仕切り、運営は女性がする場合が多い。
- 弱者、高齢者、子供には特別な配慮が必要。
- 被災者への共感、傾聴には女性の役割が重要。
- 東日本では津波の犠牲者は昼間に家に居て、高齢の親を避難させようと家に戻った女性が多かった。災害で命を落とす割合は女性が多い。

# 方法 概要 Method

- これらの問題を顕在化するために、東日本大震災での当事者、経験者、行政関係者、研究者を交えて小さなシンポジウムを東大DMTCで開催し、ジェンダーと防災のネットワーク作りをする
- 本ネットワークは防災、災害分野での女性の役割を顕在化する。
- 全国的に広げるための役割を果たすことを目指す

# 場所 日時 Venue, time

- 東大駒場キャンパス DMTC。対面とウェブ 参加費無料
- 開催日：2025年2月 10日 時間は午後：2時間程度の予定
- 登壇者（演題は確定中）
  - [Julia Gerster](#) ユリア・ゲルスタ（東北大学災害科学国際研究所准教授）講演は日本語
  - 松田曜子（京都大学防災研究所准教授）防災とケアのあり方 [松田 曜子 \(Yoko Matsuda\) - マイポータル - researchmap](#)
  - [岩佐孝子](#)（宮城県山元町議会）避難所運営の経験：被災者の視点から  
(1)
  - [伊藤まり](#)（福島県浪江町）避難所運営の経験：被災者の視点から  
(2)
  - 西澤真理子（[リテラジャパン](#)）飯舘村での経験から、モデレーター兼

# DMTCについて

- オンライン講座 – 災害対策トレーニングセンター

毎年のように世界中で地震、風水害などの自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われており、私たちは総力戦でこれらの災害に立ち向かうしかない状況に直面しています。そこでDMTCは、新たな局面における災害対策の研究と人材養成の新しい教育サービスとして、自助・共助・公助の枠組みや組織を超え、相互に補完し連携するために、横断的かつ体系的に災害対策を研究し学びあうことで、様々なセクターで活躍できる人材を養成します。

災害対策に関する「研究」と「教育」を両輪として、災害対策に関する知の集積と研究を促進することで、行政、企業・団体、地域住民など、多様なステークホルダーによる災害対策の発展に貢献します。